

第4回貿易のための援助（A f T）グローバル・レビュー会合

平成25年5月
経済局国際貿易課

1 A f Tグローバル・レビュー会合について

- (1) WTOが中心となって取り組んでいる貿易のための援助（A f T）に関し、現状を総覧するとともに、効果的な援助のあり方について議論を行うため、WTO・OECDの共催により隔年で開催されている閣僚級会合（援助機関の長レベルや援助国・被援助国の閣僚級が参加。）。
- (2) 我が国はA f T主要ドナー国として、貿易円滑化に関する税関業務効率化の支援、アフリカ諸国におけるワンストップボーダーポスト（OSBP）における取組実績、貿易推進、投資に関するTICAD VIにおける議論の紹介、アジアとアフリカの対話と協調の可能性等、幅広く積極的に貢献実績を紹介の上、議論に参加をした。

(注) 貿易のための援助（A f T : Aid for Trade）

貿易分野における能力構築やインフラ供与などの途上国支援の総称。途上国の貿易関連能力の向上による経済発展と貧困の削減を目的としている。

2 第4回A f Tグローバル・レビュー会合の概要

(1) 日程

平成25年7月8日（月）～10日（水）

(2) 場所

WTO（世界貿易機関）本部（於：ジュネーブ）

(3) 議題

「バリューチェーンへの連結」をテーマに、途上国がバリューチェーンに参画する上でA f Tが果たす役割について主に議論された。

(注) バリューチェーン

現在では、原料調達、開発、製造、販売、サービス等の様々な過程で国境を超えて「価値」が付加されていることに着目して貿易実態をとらえようとするアプローチ。

(4) 主な参加者

ラミーWTO事務局長、グリアOECD事務総長、インドラワティ世界銀行専務理事、ズーIMF副専務理事の他、国連開発計画、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行等国際援助機関の長レベル、米国国際開発庁（USAID）等各国援助機関の長レベル及び各国の貿易・開発担当閣僚・閣僚級が参加。

(5) プログラム概要

- 7月8日（月） 国際援助機関の役割、民間セクター開発、各地域におけるバリューチェーンに関する取組等に関するセッション
- 7月9日（火） 5産業分野（観光、情報産業、農業食品、繊維・アパレル、物流・ロジスティクス）におけるバリューチェーンの検証
- 7月10日（水） A f Tの将来展望